

横浜市 新型コロナウイルス対策本部会議

令和3年9月28日（火） 18時30分から

市庁舎10階 本部会議室

- 1 市内の状況
 - (1) 感染発生等の状況 <健康福祉局> 【資料1】
 - (2) 医療提供体制の状況 <医療局> 【資料2】
 - (3) 市内経済の状況 <経済局> 【資料3】
 - (4) 市内観光の状況 <文化観光局> 【資料4】
- 2 ワクチン接種の状況 <新型コロナウイルスワクチン接種推進本部> 【資料5】
- 3 国及び県の方針 <本部運営調整チーム> 【資料6】
- 4 本市の対応
 - (1) 学校の対応 <教育委員会事務局> 【資料7】
 - (2) 保育所等の方針 <こども青少年局> 【資料8】
 - (3) 市民利用施設等の方針 <本部運営調整チーム> 【資料9】
- 5 本部長指示、市長メッセージ

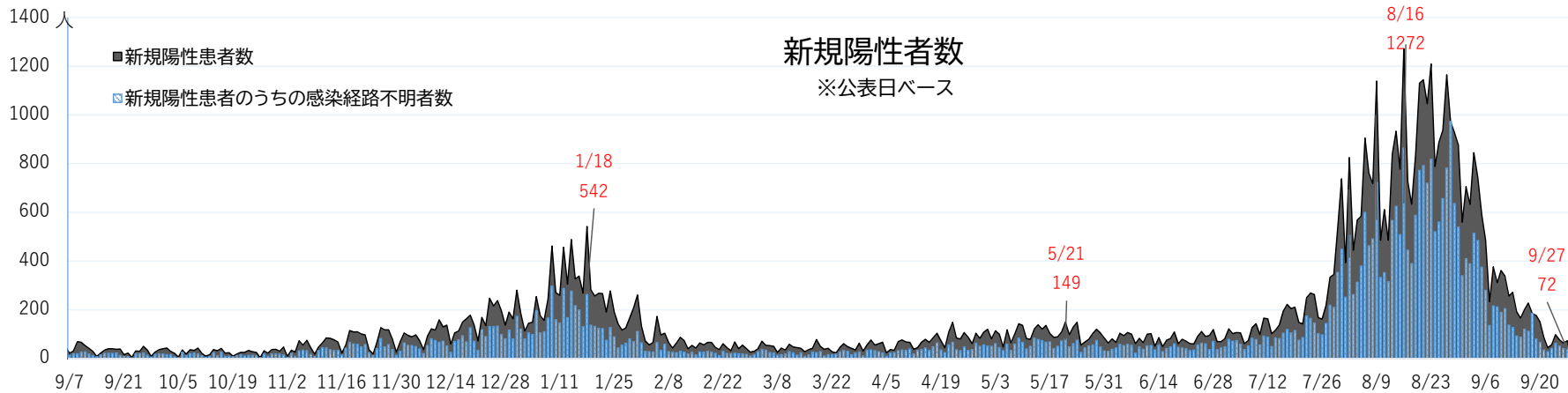
(1) 感染発生等の状況

感染の状況 ① (令和3年9月27日時点 速報値)

累積陽性患者数 68,597人

うち直近1週間 492人

直近1週間の陽性患者数は減少



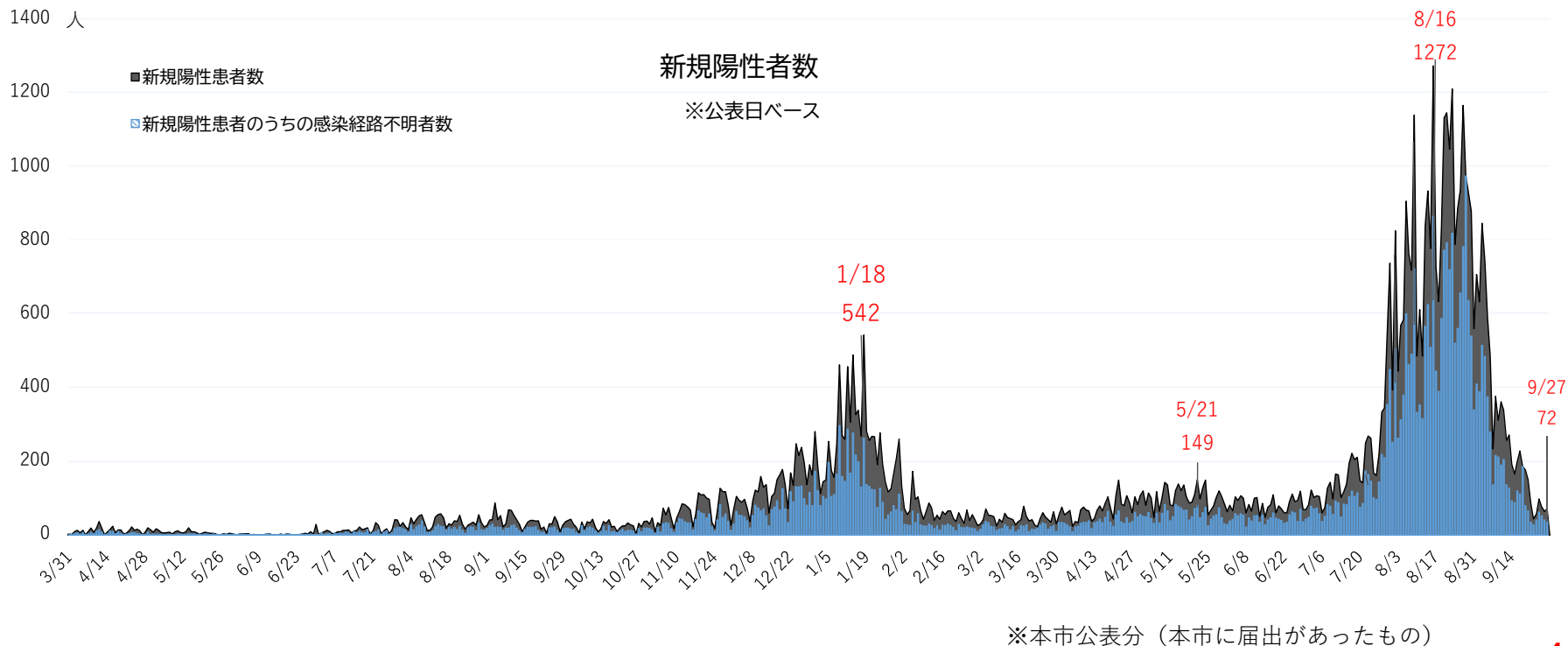
9/7	9/14	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29	4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30	9/6	9/13	9/20
306人	216人	182人	196人	185人	176人	158人	202人	310人	435人	604人	557人	548人	787人	900人	1268人	1209人	1707人	2440人	2080人	1207人	694人	421人	371人	335人	318人	290人	308人	276人	401人	367人	476人	636人	638人	683人	808人	758人	671人	593人	555人	534人	572人	664人	767人	1135人	1444人	2726人	4806人	5299人	6788人	6886人	4953人	2361人	1415人	570人
(128)	(114)	(86)	(93)	(107)	(88)	(75)	(93)	(142)	(223)	(337)	(293)	(295)	(410)	(521)	(729)	(749)	(1125)	(1418)	(974)	(503)	(297)	(169)	(149)	(141)	(164)	(128)	(120)	(155)	(180)	(188)	(269)	(288)	(332)	(365)	(450)	(413)	(364)	(303)	(294)	(312)	(315)	(412)	(448)	(624)	(855)	(1718)	(3009)	(3419)	(4567)	(4944)	(3047)	(1369)	(800)	(318)

※本市公表分（本市に届出があったもの）。

（ ）内は感染経路不明者数速報値。今後、疫学調査により感染経路不明者の数が変動する可能性あり。

(1) 感染発生等の状況

【参考】 令和2年3月30日～令和3年9月27日の陽性患者数グラフ



※本市公表分（本市に届出があったもの）

(1) 感染発生等の状況

感染の状況 ② (令和3年9月27日時点 速報値)

直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性患者数

13.0人 (9/21~9/27の新規陽性患者数 492人) / (3,776,000 / 100,000) = 13.0

【参考】各月末時点の直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性者患者数

2020年					2021年								
8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	
6.0	5.6	4.8	14.6	37.7	32.2	8.9	8.8	16.5	16.0	16.9	66.2	167.5	

(最大 8月23日の週 178.1人)

※本市公表分(本市に届出があったもの)。

※2021年4月以降は人口3,776千人(2021年4月1日時点の推計人口)を基に算出。

《感染状況のステージ》

ステージⅢの指標：新規報告数が人口10万人あたり15人/週以上

ステージⅣの指標：新規報告数が人口10万人あたり25人/週以上

(1) 感染発生等の状況

感染の状況 ③ (令和3年9月27日時点 速報値)

直近1週間の累積新規陽性患者における感染経路不明な者の割合

59.8%

9/21～9/27の (感染経路不明の新規陽性患者数 294人/7日) / (新規陽性患者数492人/7日) = 0.598

【参考】各月末時点の直近1週間の累積新規陽性患者における感染経路不明な者の割合

2020年					2021年							
8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末
57%	52%	50%	52%	57%	42%	42%	50%	50%	53%	56%	63%	71%

(最大2021年8月29日の週 71.8%)

《感染状況のステージ》

ステージⅢの指標：感染経路不明割合50%

ステージⅣの指標：感染経路不明割合50%

※本市公表分（本市に届出があったもの）。速報値。
今後、疫学調査により感染経路不明者の数が
変動する可能性あり。

(1) 感染発生等の状況

医療提供体制等の負荷①（令和3年9月27日時点 速報値）

横浜市の確保病床の利用状況

* 陽性患者受入医療機関からの報告数。市外在住者を含む。
県が確保した重点医療機関及び臨時の医療施設を除く。

		陽性患者用病床 合計	疑似症患者用病床
重症用病床	中等症等用病床		
39	191	230	152

【参考】 宿泊療養中、自宅療養中の市民

宿泊療養	自宅療養
36	672

(1) 感染発生等の状況

医療提供体制等の負荷②（令和3年9月27日時点 速報値）

人口10万人あたりの全療養者数

43.8人（9/27時点の全療養者数1,654人）／（3,776,000／100,000）＝43.8

【参考】各月末時点の人口10万人あたりの全療養者（入院者、宿泊・自宅療養者）数

2020年					2021年								
8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	
10.7	9.7	9.4	28.6	54.9	80.7	27.1	14.3	26.7	32.1	28.7	95.5	287.6	

※本市公表分（本市に届出があったもの）。今後、医療機関等からの報告により数変動する可能性あり。
 ※2021年4月以降は人口3,776千人（2021年4月1日時点の推計人口）を基に算出。

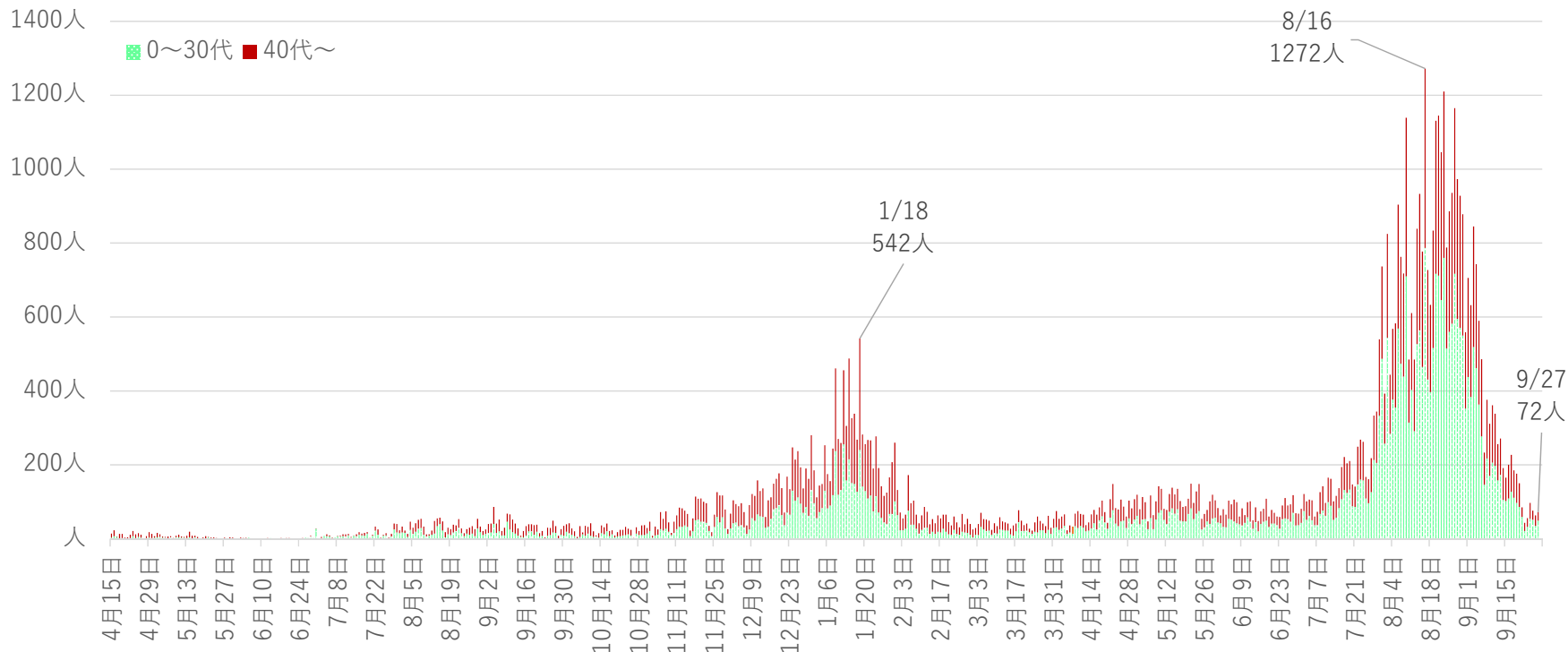
《感染状況のステージ》

ステージⅢの指標：全療養者数が人口10万人あたり20人／週以上

ステージⅣの指標：全療養者数が人口10万人あたり30人／週以上

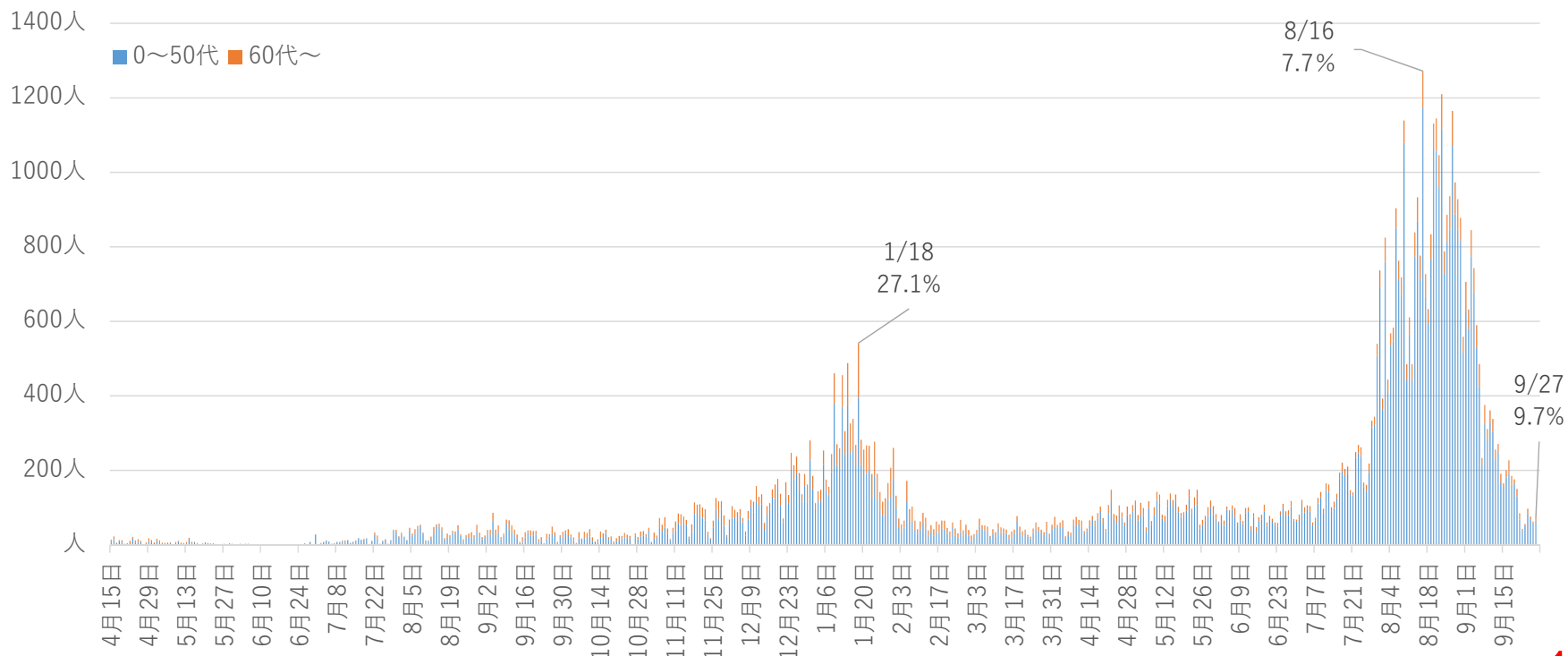
(2) 医療提供体制の状況

① 新規陽性者の年代別傾向（令和3年9月27日時点）



(2) 医療提供体制の状況

① 新規陽性者の年代別傾向（令和3年9月27日時点）



(2) 医療提供体制の状況

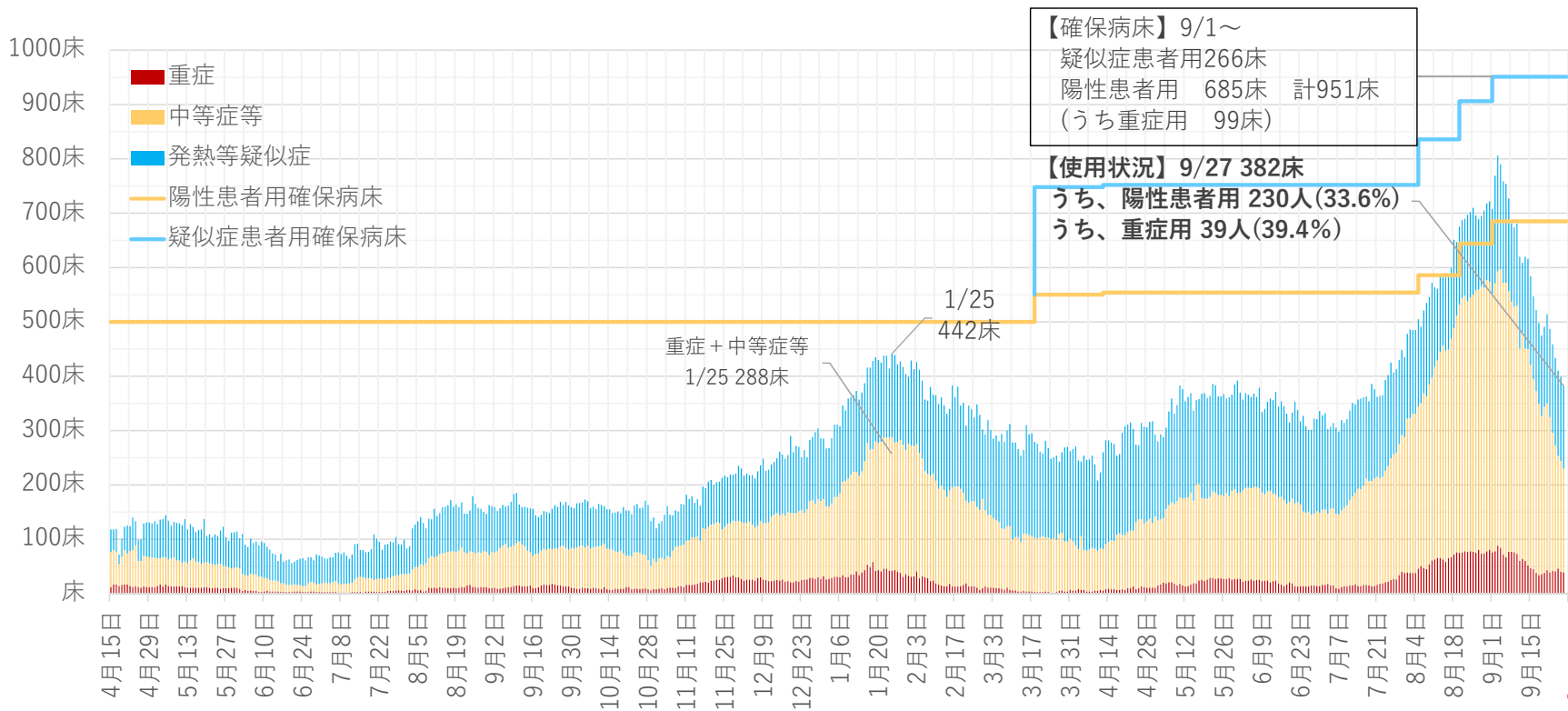
② 重症者の状況（令和3年9月27日時点）

（注：市内のコロナ患者受け入れ医療機関からの報告）



(2) 医療提供体制の状況

③ 陽性・発熱等疑似症患者用病床の使用状況（令和3年9月27日時点）



(3) 市内経済の状況

第118回横浜市景況・経営動向調査の結果（令和3年9月実施）

<令和3年7-9月期自社業況BSI ※の結果> ※自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値

全産業：5期連続で上昇も、▲28.4と依然として低い水準。

飲食業：3期連続で▲100.0と特に厳しい状況。（全ての事業者が「業況が悪い」と回答）

<自社業況BSIの推移>（カッコ内は前期との差）

※調査開始以来最大のマイナス幅

※5期連続の上昇

	令和2年 1-3月期	令和2年 4-6月期	令和2年 7-9月期	令和2年 10-12月期	令和3年 1-3月期	令和3年 4-6月期	令和3年 7-9月 (今期)	令和3年 10-12月 (見通し)	令和4年 1-3月期 (見通し)
全産業	▲27.2 (▲5.4)	▲64.0 (▲36.8)	▲59.9 (+4.1)	▲45.6 (+14.3)	▲44.5 (+1.1)	▲36.1 (+8.4)	▲28.4 (+7.7)	▲26.9 (+1.5)	▲26.4 (+0.5)
飲食・ 宿泊業	▲41.2 (▲7.9)	▲100.0 (▲58.8)	▲94.4 (+5.6)	▲83.3 (+11.1)	▲100.0 (▲16.7)	▲100.0 (±0)	▲100.0 (±0)	▲100.0 (±0)	▲75.0 (+25.0)

(3) 市内経済の状況

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者向け支援策の実績

実績：延べ 82,349件（令和3年9月17日（金）時点）

支援策	実績
制度融資による資金繰り支援	26,978件
事業者・商店街への一時金	15,257件
設備投資・テレワーク導入・販路開拓支援への助成	14,324件
小規模事業者コロナ禍特別相談支援事業	614件
特別経営相談窓口	20,620件
商店街プレミアム付商品券発行支援事業	(25団体) 2,326件(※1)
文化芸術活動支援金【文化観光局】	2,008件(※2)
安全・安心な横浜MICE開催支援助成金【文化観光局】	222件(※2)

※1 事前エントリー件数

※2 文化観光局事業については、R2年度くらし・経済対策開始以降の累計数。交付決定前の申請件数を含む。

(3) 市内経済の状況

市内飲食店等消費促進事業 ※実施等は今後の感染状況により判断

ワクチン接種の進展に合わせて高まることが想定される外食需要や消費意欲を、市内の飲食店や商店街等での消費につなげるため、**市内の消費促進に向けた取組**を実施

【9月補正予算計上事業】

◆実施概要

①レシートを活用した市内飲食店利用促進事業「レシ活チャレンジ」[予算額：2億3,000万円]

実施内容	スマホアプリなどを利用して、 市内飲食店で発行されたレシートの利用金額に応じたポイント（5%）還元やキャッシュバック 等を行うキャンペーンを実施
実施期間	R3年12月～R4年2月

②地域経済活性化事業[予算額：2,000万円]

実施内容	区内の魅力的な店舗・商品等のPRや商店街等が開催するイベント支援等、 各区と連携し、地域の実情に応じた、きめ細かな消費促進策を実施
実施期間	R3年10月～R4年3月

(4) 市内観光の状況 <文化観光局>

市内主要ホテル平均稼働率の推移 (2017年～2021年) (単位：%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2017年	76.5	85.8	89.6	89.2	84.8	84.3	86.3	90.2	85.9	89.7	88.6	85.2	86.3
2018年	79.4	86.7	90.3	89.2	85.3	89.3	87.5	92.7	88.6	91.1	92.2	88.7	88.4
2019年	79.0	86.9	90.6	92.2	87.1	83.2	86.1	90.5	85.5	86.2	86.3	84.6	86.5
2020年	78.4	73.3	49.3	26.6	20.9	36.9	39.2	48.0	54.2	61.5	61.1	59.3	50.7
2021年	31.9	37.5	46.8	46.8	45.7	51.1	57.3						45.3
平均	69.0	74.0	73.3	68.8	64.8	69.0	71.3	80.4	78.6	82.1	82.1	79.5	

(4)市内観光の状況 <文化観光局>

市内ホテルの状況

○ 現状

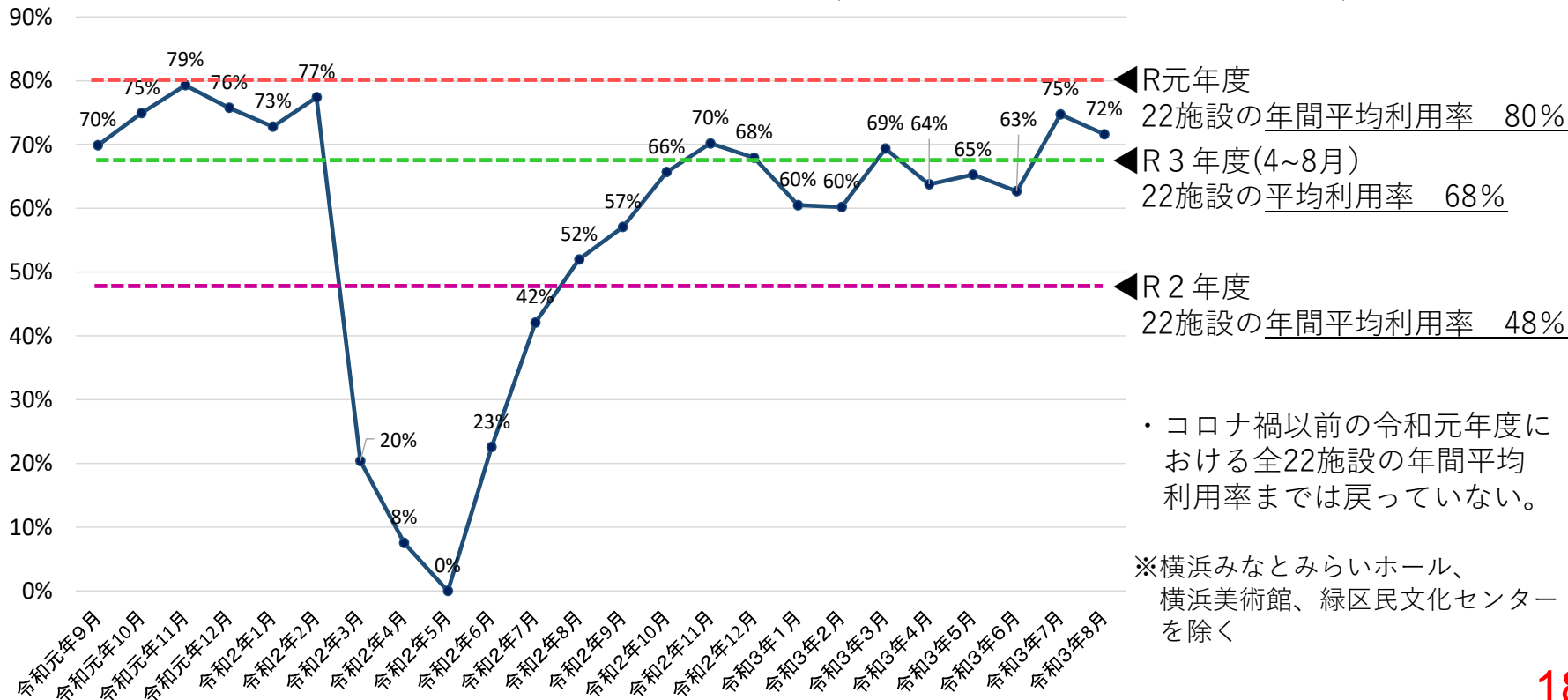
- ・ シルバーウイーク前半は稼働が上がったホテルが多かったが、9月全般としては、緊急事態宣言の延長、夏休みの反動により動きが鈍い。単価を下げても、稼働は例年と比べて落ち込んでいる状況。
- ・ 直前予約の傾向が継続しており、利用者層も引き続き、近隣の若い層の少人数利用が中心。
- ・ 県の要請内容（時短営業、酒類提供の可否等）の変更に対応し、レストランやバーの営業店舗数や営業時間を適宜調整している。

○ 今後の見通し等

- ・ 稼働は下げ止まっているものの、コロナ前の水準と比較するとかなり低く、単価が上がりづらいため、先が見通せず、厳しい状況が継続する見込み。
- ・ インバウンドや団体旅行の再開が見込めないため、緊急事態宣言が解除された際には、個人の旅行需要回復に効果的な国や市の宿泊促進キャンペーンの早期開始を希望。

(4) 市内観光の状況 <文化観光局>

文化施設22※施設の利用率平均（R元年9月～R3年8月）

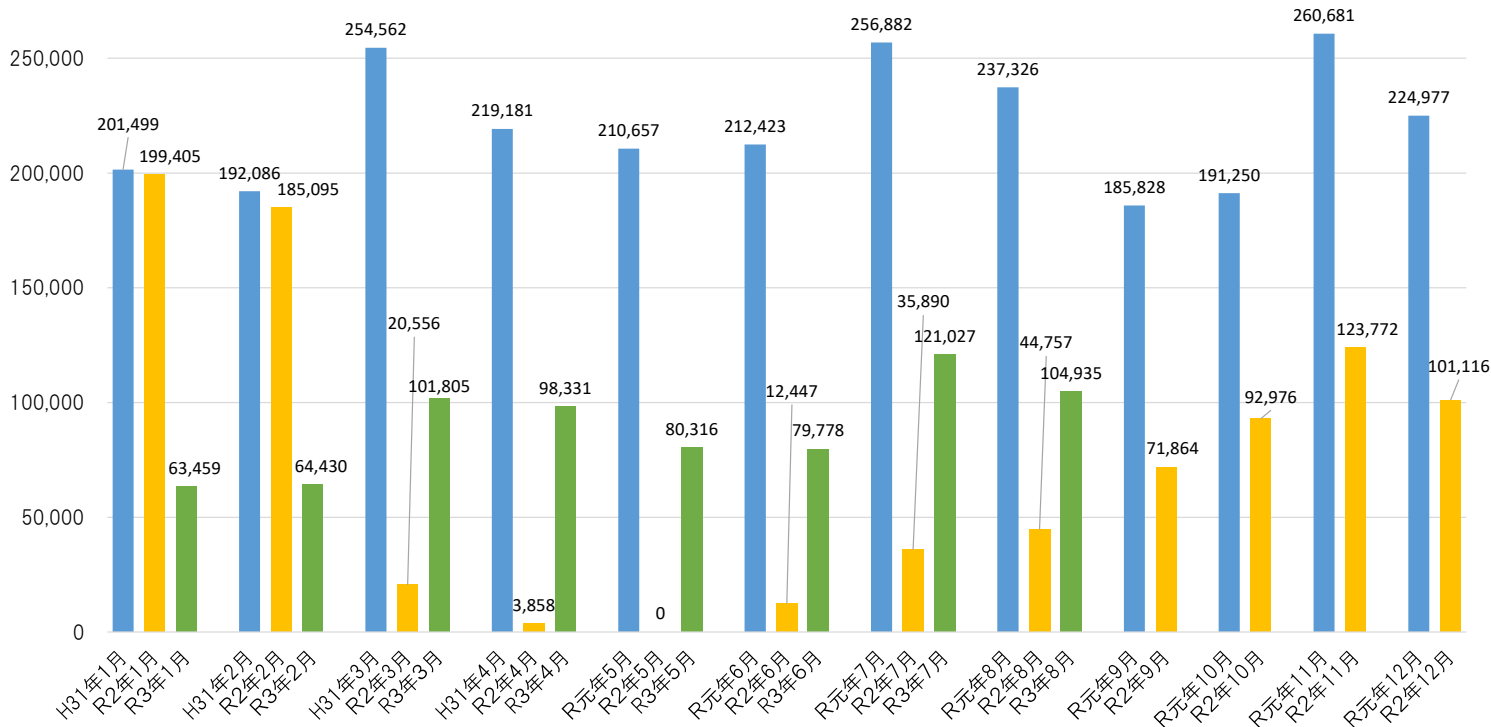


(4) 市内観光の状況 <文化観光局>

文化施設22※1施設の利用者数 (H31年1月～R3年8月) 各月比較※2

300,000 (人) ※1：横浜みなとみらいホール、横浜美術館、緑区民文化センターを除く

※2：9月からは2か年比較



利用人数については、コロナ禍以前までの回復には至っていない。

◆R3年8月の状況
前々年度比：44%
R3.8：104,935人
R1.8：237,326人

【参考】

- ・第1次緊急事態宣言期間 (R2/4/8～R2/5/25)
- ・第2次緊急事態宣言期間 (R3/1/8～R3/3/21)
- ・まん延防止等重点措置期間 (R3/4/20～R3/8/1)
- ・第3次緊急事態宣言期間 (R3/8/2～R3/9/30)

2 ワクチン接種の状況

I ワクチン接種の状況

令和3年9月26日時点

	対象者数	総接種者数	接種率(少なくとも1回接種)	接種1回目のみ	接種2回完了	接種率(2回完了)
全世代(12歳以上)	3,418,930人	2,456,660人	71.9%	463,814人	1,992,846人	58.3%
うち高齢者数	970,684人	834,493人	86.0%	9,341人	825,152人	85.0%
うち12歳から64歳	2,448,246人	1,622,167人	66.3%	454,473人	1,167,694人	47.7%

※対象者数は、令和3年7月26日時点の接種券発行者数(令和3年6月30日時点で満12歳以上の市民を対象に発送)

※接種者数は、令和3年9月26日24:00時点までにワクチン接種記録システム(VRS)に報告のあった数(統計ファイル)

II 12歳～64歳の接種計画の見直し

※令和3年9月17日 記者発表

【全世代】

	当初計画	見直し後計画
時期	11月末	10月末【1か月の前倒し】
接種率	71.8%	80%【8.2ptアップ】

【12歳から64歳】

	当初計画	見直し後計画
時期	11月末	10月末【1か月の前倒し】
接種率	63.3%	76.8% (※)【13.5ptアップ】

III 「横浜市若者向けワクチン接種センター」及び「深夜・早朝接種」の実施(予定)

※関連する補正予算の成立が前提となっています。

若い世代向けに交通アクセスの良い「横浜市若者向けワクチン接種センター」や多様なライフスタイルに合わせて接種できるよう深夜・早朝のワクチン接種会場を開設する予定です。

国の方針

新規陽性者の数が全国的に大きく減少し、重症者の数もピーク時の半分以下の水準まで減少している。また、病床使用率もすべての地域で50%を下回り病床のひっ迫の状況にかなり改善が見られ、医療への負荷が全体として軽減されてきていることから緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置について10月1日から全面解除とする。

なお、感染の早期の再拡大を防止する観点から、対策の緩和については段階的に行い、必要な対策はステージII相当以下に下がるまで続けることを基本とする。

9月30日まで

【緊急事態宣言】

- ・ 沖縄
- ・ 東京
- ・ 埼玉、千葉、神奈川、大阪
- ・ 茨城、栃木、群馬、静岡、京都、兵庫、福岡
- ・ 北海道、岐阜、愛知、三重、滋賀、広島

【まん延防止等重点措置】

- ・ 石川
- ・ 福島、熊本
- ・ 香川、鹿児島、宮崎
- ・ 宮城、岡山



10月1日から全面解除

県の方針

1 宣言解除後の対応

令和3年10月1日(金)～24日(日)

2 措置の概要

	現在の主な対応（緊急事態宣言）	10月1日からの対応
県民の 外出自粛等	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な場合を除く外出自粛の要請 感染対策が徹底されていない飲食店の利用自粛要請 路上飲みをしないよう要請 昼夜を問わずマスク飲食の実践 等 	<ul style="list-style-type: none"> 混雑している場所や時間を避けて少人数で慎重な行動の要請 特に21時以降の外出自粛要請 感染対策が徹底されていない飲食店の利用自粛要請 路上飲みをしないよう要請 昼夜を問わずマスク飲食の実践 等
飲食店等への 要請	<ul style="list-style-type: none"> 休業要請。 ただし、酒類提供の終日完全停止（持込み含む）及びカラオケ設備の終日停止を行った場合、5時から20時まで営業可 	<ul style="list-style-type: none"> 時短要請 「マスク飲食実施店」は、5時～21時 「マスク飲食実施店」以外(※1も含む)は、5時～20時 (※1) 認証申請中の店 酒類提供 「マスク飲食実施店」は、11時～20時 「マスク飲食実施店（申請中）」は、11時～19時半 「マスク飲食実施店」以外は、禁止 人数制限 4人・同居家族 カラオケ 終日停止
イベントの 開催制限	<ul style="list-style-type: none"> 人数上限 人数5,000人かつ収容率50%以内 (歓声等の有無を問わない) 時短要請 21時まで イベント主催者等へのガイドライン遵守要請 等 	<ul style="list-style-type: none"> 開催制限の要請 ※10月31日まで 人数上限 ①と②の小さい人数を上限 ①収容率：歓声等 無し100% 有り50% ②人数：5,000人又は定員50%以内の大きい方(上限1万人) ※11月から令和4年1月末までの事前販売を1万人上限とするよう働きかけ 時短等の働きかけ（21時まで）、ガイドライン遵守の要請

(1) 学校の対応

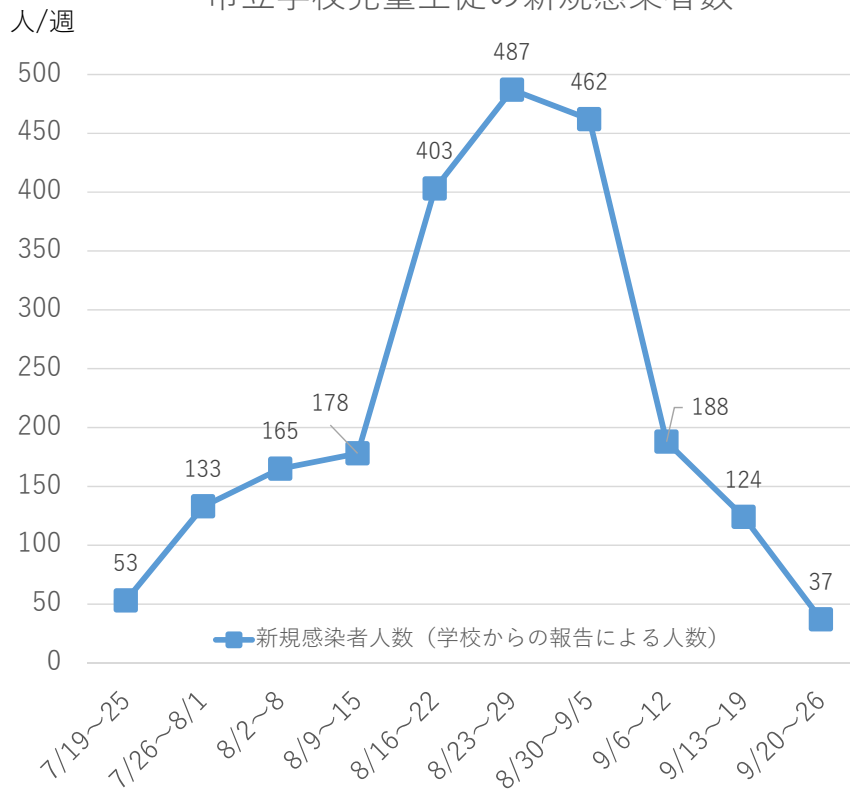
<小・中学校>

- ・10月4日(月)から分散登校をやめ、通常登校とします。
- ・学校行事(修学旅行や運動会等)は、感染症対策を徹底した上で実施可能とします。
- ・部活動は、週4日(土日含む)以内として再開します。

<高等学校、特別支援学校>

- ・高等学校においては、分散登校をやめ、原則、時差通学を継続のうえ、通常授業とします。ただし、各校の実情によっては、短縮授業を行う場合があります。
- ・特別支援学校は、分散登校をやめ、原則、通常登校とします。ただし、各校の実情によっては、短縮授業等を実施する場合があります。

市立学校児童生徒の新規感染者数



(2) 保育所等の方針（令和3年10月1日以降）

- ① 厚生労働省・神奈川県の方針
 ・保育所等については、引き続き、**感染防止対策を徹底しつつ、原則開所**
- ② 令和3年4月以降の感染発生等の状況（令和3年9月26日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
感染者数	園児	15人	36人	27人	76人	398人	101人
	職員	32人	54人	25人	96人	303人	27人
休園数		30園	34園	25園	53園	259園	46園

※休園数・・・園児・職員の感染確認により、1日以上休園した園数

- ③ 直近2か月の週別休園数（9月26日現在）

		7/19~	7/26~	8/2~	8/9~	8/16~	8/23~	8/30~	9/6~	9/13~	9/20~26
感染者数	園児	27人	27人	88人	101人	74人	84人	78人	44人	21人	9人
	職員	34人	33人	87人	106人	52人	49人	16人	12人	8人	0人
休園数		15園	23園	58園	64園	55園	60園	36園	21園	7園	4園

- ・感染者数と休園数は、ともに **減少傾向**
 ・8月20日から31日までの登園率 **約60%**（集計中のため速報値）

保育所等の方針（令和 3 年10月 1 日以降）

④ 横浜市の方針

8月2日～8月19日	8月20日～9月30日	10月1日～
<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底しつつ、原則開所 ・家庭での保育が可能な場合には、利用を控えるよう協力依頼 		引き続き実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・登園しなかった日数分の利用料の返還 	利用料の返還対応 終了

※日割り対象施設・事業

認可保育所、幼保連携型認定こども園（保育利用）、地域型保育事業、横浜保育室（0～2歳児クラス）、年度限定保育事業、幼稚園・認定こども園における市型預かり保育事業（満3歳児）、幼稚園における2歳児受入れ推進事業

市民利用施設等の方針

ア. 市民利用施設と市主催等のイベント

市民利用施設	現在の主な対応（緊急事態宣言）	10月1日からの対応
新規利用予約	・当面の間停止	・施設利用の新規予約受付を再開 ※再開日は、10月1日以降速やかに、各区局・施設において、円滑な利用再開のための必要な準備を整えたうえで、設定
利用時間の短縮等	・原則20時、ただしイベント開催時は21時まで ・酒類提供は終日完全停止(持込み含む)	・利用時間 21時まで ・酒類提供 「マスク飲食実施店」は、11時～20時 「マスク飲食実施店(申請中)」は11時～19時半 「マスク飲食実施店」以外は、終日完全停止(持込み含む)
キャンセル料等	・措置期間中の上記時間をまたぐ利用枠の予約取消は、キャンセル料を徴収しない	変更なし
徹底的な感染対策	・一般的な感染対策に加え、人数管理、人数制限、誘導等の入場整理の徹底	混雑回避のための整理及び誘導等、基本的感染防止対策の実施及び業種別ガイドラインの遵守
会食自粛の注意喚起	・利用前後の会食自粛など、リスクの高い行為への注意喚起	
市主催等のイベント	現在の主な対応（緊急事態宣言）	10月1日からの対応
開催基準の制限等	・人数上限 上限5,000人かつ収容率50%以内 ・原則21時までの開催・イベント前後の会食自粛を周知 ・酒類提供は終日完全停止(持込み含む) ・施設内外に混雑が生じないよう、入場整理を徹底	・人数上限 ①と②の小さい人数を上限 ①収容率：歓声等 無し100% 有り50% ②人数：5,000人又は定員50%以内の大きい方(上限1万人) ・開催時間等 変更なし ・酒類提供 変更なし ・入場整理 変更なし

イ. Web、SNS、チラシ等を活用して、引き続き広報、呼びかけを実施

本部長指示

以 上